

第1学年 国語科学習指導案

平成27年11月24日(火)

場所 教室

1 単元名・教材名

つながりを読む 『星の花が降るころに』（出典：光村図書『国語1』）

2 生徒の実態と本単元の意図

(1) 本単元に至るまでの指導の系統

育成すべき国語の能力 【指導事項(読むこと)】	学習内容	単元・教材名	学習活動と関連する 他領域等の指導
・場面の展開や登場人物などの描写に注意して読むことができる。【1年ウ】	・登場人物の心情の変化の読み取り方	教材名 『にじの見える橋』〈1年・5月〉	【書くこと】 ○教材名『分かりやすく説明しよう』 ・原稿用紙の使い方 ・自分の考えを相手に分かりやすく伝えるための工夫の仕方
・場面の展開や登場人物などの描写に注意して読むことができる。【1年ウ】 ・文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げることができる。【1年オ】	・登場人物の行動や情景描写に表れた心情の読み取り方 ・作品の題名がもつ意味	教材名 『大人になれなかった弟たちに……』 〈1年・9月〉	

(2) 生徒の実態と本単元の意図

①生徒観

生徒は本単元に至るまでに、登場人物の心情描写や行動に着目し、登場人物の心情を読み取る学習、心情の変化を読み取る学習、情景描写に着目してそこに表れている登場人物の心情を読み取る力をつけてきた。文学的文章の教材としては、これまで『にじの見える橋』『大人になれなかった弟たちに……』を、『にじの見える橋』では、心情描写や行動に着目して、それに伴う登場人物の心情の変化を読み取る学習を行った。また、『大人になれなかった弟たちに……』では、登場人物の行動や情景描写に着目して、それに伴う登場人物の心情や作者の思いを読み取る学習を行ってきた。

本単元では、既習事項である「登場人物の心情とその変化を読み取る学習」に加え、場面展開を読み取る学習を行う。時間や場所を表す語句に注目させることで場面展開を読み取る力をつけさせたい。また、生徒にとって、登場人物の行動や情景描写から登場人物の心情とその変化を読み取る、場面展開を読み取るという文学的文章の読解の方法や基礎を学習する単元としたい。さらに、作品の続きを創作し、交流することで考えを深め合う単元としたい。

②教材観

本作品は、中学生の「私」が主人公である。小学生の頃から仲がよかった夏実と「中学生になってもずっと仲良しでいよう。」と約束していたが、何度かのすれ違いや誤

解が重なるうちに二人の関係は微妙になってくる。「私」は夏実との関係を修復しようとするが、幼なじみの戸部君に話しかけられ、その機会を逃してしまう。「私」は失望するが、その日の放課後、自分なりの信念を持って部活動に取り組む戸部君の姿を目の当たりにし、「私」は幼いと思っていた戸部君の成長に驚く。下校途中に夏実との思い出がある公園で見た常緑樹の銀木犀は、一年中同じ葉をしげらせているのではなく、古い葉を落として新しい葉を生やしながらか生きていくことを知る。銀木犀を見ながら、「私」は去年の秋に夏実とその公園で集めた銀木犀の花を土の上に落とし、自分の生き方について考えるという内容である。

中学生になると、次第に家族との距離を置き始め、その代わりに友人との関係が濃密になり、全てを分かり合える友人関係を求めるようになる生徒が多い。しかし、現実には友人との間に悪意はなくともすれ違いはあり、相いれない部分も多かれ少なかれ存在する。友人関係に過度の期待をするあまり、少しのすれ違いや誤解に失望したり、傷ついたりしやすくなる。本作品は、学校での日常生活での友人とのすれ違い、友人と公園で過ごした思い出など、生徒の日常生活と共通する場面が描かれている。そのため、楽しいことや辛いこと、様々な友人関係など、学校生活の中で起こる全ての出来事を通して成長していく生徒にとって、共感して読むことのできる作品であると考えられる。

③指導観

本単元においては、「読むこと」の指導事項「ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。」を主軸とし、「作品の続きを書く」という言語活動を「単元を貫く言語活動」として設定する。「書く活動」を最終目標として設定しているが、重点は「書くための読み」であり、登場人物の心情やその変化、場面展開、人物像など、文章から読み取ったことを根拠にして作品の続きを書くために、作品に対する読みを深めることを重視していく。そのために、第一時で、本単元の最終目標が「作品の続きを書くこと」であることを明確に示し、作品の続きを書くために読むという目的意識を生徒に持たせておきたい。

本単元では、文学的文章の読解の方法や基礎として、登場人物の行動や情景描写から登場人物の心情とその変化や場面展開を読み取ることを中心に学習を進めていく。作品の続きを書くときの注意点として、この作品が「夏実」や「戸部君」などの登場人物の行動や心情、学校生活の様子などが、主人公である「私」が語り手となって描かれていることに注目させ、その文体を生かして作品の創作を行うよう指導していく。また、作品を交流する際には、そういう続きにした根拠は何か、なぜそういう続きにしたのかなどを考えたり話したりする機会を設け、作品における自分なりの「読み取り」との関連を明確にさせたい。

3 単元の目標

- (1) 登場人物の心情を想像し、作品がどう続いていくかを考え、交流することで、さらに考えを深めようとしている。(関心・意欲・態度)
- (2) 時間や場所を表す語句に注目して、作品の構成や場面展開を読み取ることができる。(読むこと)
- (3) 登場人物の行動、情景描写から登場人物の心情とその変化を読み取り、それを根拠にして作品の続きを考えることができる。(読むこと)
- (4) 文脈の中での言葉の意味や比喩などの表現の特徴と効果をとらえることができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

4 単元の評価規準と学習活動に即した評価規準※()の部分はAの状況、他はBの状況を示す。

	ア 国語への関心・意欲・態度	エ 読む能力	オ 言語についての知識・理解・技能
単元の評価規準	・登場人物の心情を想像し、作品がどう続いていくかを考え、交流することで、さらに考えを深めようとしている。	(1)時間や場所を表す語句に注目して、作品の構成や場面展開を読み取ることができる。 (2)登場人物の行動、情景描写から登場人物の心情とその変化を読み取り、それを根拠にして作品の続きを考えることができる。	・文脈の中での言葉の意味や比喩などの表現の特徴と効果をとらえることができる。
学習活動に即した評価規準	①学習の見通しをもち、(進んで)感想を書こうとしている。 ②作品がどう続いていくかを考え、(積極的な)交流によって考えを深めようとしている。	(1)①時間や場所を表す語句に注目して、場面展開を(的確に)読み取っている。 (2)①登場人物の行動、情景描写から登場人物の心情とその変化を(的確に)読み取っている。 (2)②登場人物の心情とその変化を根拠にして、(作品の文体に合わせて)作品の続きを考えている。	①文脈の中での言葉の意味や比喩などの表現の特徴と効果を(的確に)とらえている。

5 指導と評価の計画 (全8時間)

時	主な学習活動	学習内容	評価規準・評価方法
1	○学習ノートを製本する。 ○学習の概要を知り、学習計画を確認する。 ○新出漢字の確認と語句の意味調べを行う。	○単元の見通し ○新出漢字の確認と語句の意味調べ	ア① ・学習ノートによる考察
2	○本文を通読し、初発の感想を書く。 ○時間や場所が分かる表現に着目し、場面展開を確認する。	○感想の記入 ○文学的文章における場面展開の読み取り方 ○作品における場面展開の変化	ア① エ(1)① ・机間指導による観察 ・学習ノートによる考察
3	○場面ごとに主人公の行動を表す言葉を書きぬき、その時の主人公の心情を考え、その変化を読み取る。	○文学的文章における主人公の心情とその変化の読み取り方 ○作品における主人公の心情の変化	エ(2)① オ① ・机間指導による観察 ・学習ノートによる考察

4	○主人公の見方や考え方の変化を読み取る。	○主人公の戸部君に対しての見方や考え方の変化とそのきっかけ	エ(2)① ・机間指導による観察 ・学習ノートによる考察
5 (本時)	○主人公の見方や考え方の変化を読み取る。 ○主人公の行動から心情を読み取る。	○主人公の銀木犀に対しての見方や考え方の変化とそのきっかけ ○最後の行動に表れた私の心情	エ(2)① ・机間指導による観察 ・学習ノートによる考察
6	○作品の続きを考える。 ○創作した作品を交流する準備をする。	○作品の続きの創作 ○作品の続きを創作する上での根拠	ア② エ(2)② ・生徒の作品
7	○創作した作品を交流し、感想を書く。 ○友達の感想を読んだの自己評価をする。	○他人の作品に表れた考え ○自分の作品に対する他人の感想 ○自分の作品を振り返り、身に付いた国語の力の確認	ア② ・評価用紙

6 本時の学習指導 (本時 5 / 7 時)

(1) 目標

- 登場人物の行動、情景描写から登場人物の心情とその変化を読み取ることができる。
(読むこと)

(2) 展開

学習活動	学習内容	指導と評価の創意工夫
1 漢字テストを行う。		・毎時間取り組んでいることであるが、意欲的に取り組ませたい。
2 前時までの復習を行う。	○場面展開 ○登場人物の心情の変化	・前時までの学習ノートで復習させる。
3 本時の学習のめあてをつかむ。		・最初と最後の銀木犀に対する表現を書きぬいて比べることで学習課題に迫っていくことを説明する。
銀木犀に対する私の考え方を読み取り、最後の行動に表れた私の心情を考えよう。		
4 銀木犀に関する表現を書きぬき、私の銀木犀に対する考え方を読み取る。	○登場人物の行動、情景描写から読み取れる登場人物の心情とその変化	・文章の読む箇所はあらかじめ指定する。 ・最初と最後の夏実との関係に注目させる。

	<p>○最初</p> <p>【押さえる表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銀木犀は甘い香り、白く小さな星の形。 ・夏実と二人で木の真下に立ち、花が散るのを長いこと見上げていた。 ・木に閉じ込められたと笑った。 ・お守りみたい。 ・どんなことから木が守ってくれる。 <p>【私の銀木犀に対する考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏実との思い出。 ・友情の証。 ・お守りのようなもの。 <p>○最後</p> <p>【押さえる表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花びらは小さく縮んで、もう色がすっかりあせている。 ・星形の花を土の上にぱらぱらと落とした。 ・ここでいつかまた夏実と花を拾える日が来るかも知れない。それとも違っただれかと拾うかもしれない。あるいはそんなことはもうないかも知れない。 ・きっと何とかやっていける。 ・私は銀木犀の木の下をくぐって出た。 <p>【私の銀木犀に対する考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私を前向きにしたもの。 ・新たな気持ちで踏み出すきっかけ。 ・夏実のことをふっきる。 	
<p>5 私の銀木犀に対する考え方が変化したきっかけになったできごとを読み取る。</p>	<p>○銀木犀に対する考え方が変化したきっかけ</p> <p>・掃除をしているおばさんの話を聞いたこと。</p> <p>・銀木犀は常緑樹だが、古い葉を落としながら生きていること。</p>	
<p>6 「私は～出た。」という行動に表れた私の心情を考え、班で話し合う。</p>	<p>○行動に表れた登場人物の心情</p> <p>・銀木犀が古い葉を落として生きるように、夏実のことにこだわらず、新しい気持ちで生きていこう。</p> <p>・前向きに生きよう。</p> <p>・夏美とのことをふっきろう。</p>	<p>・銀木犀の花びらを捨てて、木の下をくぐって出たことが、新たな一歩を踏み出そうとする「私」の決意や心の成長を象徴していることを読み取らせる。</p>

<p>7 班で出された意見をもとに、学級全体でまとめを行う。</p>	<p>○他の班で出された意見</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・銀木犀が古い葉を落として生きるように、夏実のことにこだわらず、新しい気持ちで生きていこう。</p> </div>	<p>【評価】 〈評価規準〉 エ(2)① 〈評価方法〉 ・学習ノートによる考察 〈Cの生徒に対する手立て〉 ・私の銀木犀に対する考え方を丁寧に見直させる。</p>
------------------------------------	---	--